

新規事業採択時評価結果（平成29年度新規事業化箇所）

担当課：都市局 街路交通施設課  
担当課長名：渡邊 浩司

事業の概要

|           |   |       |            |      |     |
|-----------|---|-------|------------|------|-----|
| 事業名       | 地域高規格道路 大分中央幹線道路<br>都市計画道路 庄の原佐野線（下郡工区）   | 事業区分  | 街路         | 事業主体 | 大分県 |
| 起終点       | 自：大分県大分市大字下郡<br>至：大分県大分市下郡南   | 延長    | 0.9 km     |      |     |
| 事業概要      | <p>地域高規格道路大分中央幹線道路は、「大分自動車道 大分IC」と東九州自動車道 大分米良ICと接続する「(主)中判田下郡線」を結ぶ、延長約6kmの路線である。</p> <p>このうち、(都)庄の原佐野線(下郡工区)は、東九州自動車道等の広域幹線道路とのネットワーク強化や、周辺道路の交通渋滞の緩和に寄与することを目的とする延長0.9kmの街路事業である。</p> |       |            |      |     |
| 事業の目的、必要性 | <p>本路線は、周辺道路の交通容量不足による慢性的な交通渋滞の緩和や渋滞緩和による追突事故の減少を図るとともに、大分市中心市街地の津波浸水想定区域内と市の東部に位置する広域防災拠点間の緊急輸送路の確保等に寄与する。</p>   |       |            |      |     |
| 全体事業費     | 約180億円  | 計画交通量 | 約32,800台/日 |      |     |
| 事業概要図     |   |       |            |      |     |

**関係する地方公共団体等の意見**  
大分市からは、本路線が生産活動、都市活動、東九州自動車道へのアクセス道路として極めて重要な路線であるため、当該箇所を早期に事業着手するよう要望を受けている。

**学識経験者等の第三者委員会の意見**  
・新規事業化については妥当である。

**事業採択の前提条件**  
・費用対便益：便益が費用を上回っている。  
・手続きの完了：都市計画決定（H29.2.17）

事業評価結果

|        |             |   |  |   |           |  |
|--------|-------------|---|--|---|-----------|--|
| 費用便益分析 | B/C         | 1.1   | 総費用：132億円<br>（事業費：132億円<br>維持管理費：0.48億円）   | 総便益：147億円<br>（走行時間短縮便益：110億円<br>走行経費減少便益：26億円<br>交通事故減少便益：11億円）   | 基準年：平成28年 |  |
|        | 感度分析の結果     | 交通量変動   | B/C=1.00（交通量 -10%）   | B/C=1.2（交通量 +10%）   |           |  |
|        |             | 事業費変動   | B/C=1.01（事業費 +10%）   | B/C=1.2（事業費 -10%）   |           |  |
|        | 事業期間変動      | B/C=1.01（事業期間 +20%）   | B/C=1.2（事業期間 -20%）   |   |           |  |
| 事業の影響  | 評価項目        | 評価  | 根拠   |   |           |  |
|        | 自動車や歩行者への影響 | 渋滞対策  | ◎  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・並行する(主)大分臼杵線及び国道10号の混雑緩和が見込まれる。</li> <li>【渋滞損失時間の現状】国道10号(大分駅北側付近)：140万人・時間/年</li> </ul>  |           |  |
|        |             | 事故対策  | ◎  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・並行する(主)大分臼杵線の渋滞が緩和することにより、渋滞に起因した死傷事故の減少が見込まれる。</li> <li>【死傷事故率】約162件/億台km(現況：(主)大分臼杵線)</li> <li>全国平均：約93件/億台km(約1.7倍)</li> </ul> |           |  |
|        |             | 歩行空間  | ○  | ・注目すべき影響はない。  |           |  |
|        | 社会全体への影響    | 住民生活  | ○  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・東九州自動車道 大分米良ICと大分市中心市街地間アクセスが向上し、通勤、通学等の定時性の確保が期待できる。</li> <li>[大分米良IC～大分駅の混雑時所要時間：約34分→約13分(約21分短縮)]</li> </ul>                  |           |  |
|        |             | 地域経済  | ○  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大分自動車道 大分ICと大分市臨海部等の工業集積地間のアクセスが向上し、定時性を確保した輸送が可能となり、企業活動の活発化が期待できる。</li> <li>[大分IC～東中浜交差点間の混雑時所要時間：約29分→約20分(約9分短縮)]</li> </ul>  |           |  |
| 災害     |             | ◎   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大分市中心市街地の津波浸水想定区域内において、本路線整備により広域防災拠点と大分市中心市街地間の緊急輸送道路の確保に寄与する。</li> </ul> |   |           |  |
| 環境     |             | -   | ・注目すべき影響はない  |   |           |  |
| 地域社会   | ○           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大分市中心市街地と東九州自動車道 大分米良IC間のアクセス向上により、東九州自動車道を利用した広域交流の活発化に寄与する。</li> </ul>  |  |   |           |  |
| 事業実施環境 | ○           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画決定（H29.2.17）</li> <li>・大分市都市計画マスタープラン（H23.3策定）において、大分自動車道 大分ICや大分市中心市街地と東部市街地を広域的に結ぶ骨格的な幹線道路として本路線が位置づけられている。</li> <li>・地元住民で組織される「庄の原佐野線滝尾・明野地区促進期成会」、県トラック協会、バス協会、大分商工会議所より早期整備の要望がなされている。</li> </ul> |  |   |           |  |

採択の理由

費用便益費が1.1と便益が費用を上回っているとともに、都市計画手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。  
また、(都)庄の原佐野線の開通により、周辺道路の交通容量不足による慢性的な交通渋滞の緩和が期待でき、大分市中心市街地の津波浸水想定区域内と広域防災拠点間の緊急輸送路としての機能、東九州自動車道 大分米良ICと中心市街地を結びアクセス性の向上により地域間連携の強化に寄与する等、当該事業の必要性・効果は高いと判断できる。  
以上により、本事業は平成29年度新規事業箇所として妥当であると考えられる。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。